

周波数ひっ迫対策のための国際標準化連絡調整事務 平成25年度事前評価結果

(5点満点)

案件名	実施期間	主な評価コメント	評価
固定無線アクセス技術等の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H25～H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高周波数について早めに活動していくことは大切であり、力を入れていくべき。</li> <li>・我が国が強いとされているこの分野において引き続きリーダーシップをとっていくことが必要である。</li> <li>・必要性、妥当性は認められる。</li> </ul>	4.1
ミリ波帯を用いた航空機対地上の大容量無線通信技術の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H25～H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術試験事務で得られた成果を国際標準化へ入力することは好ましい。</li> <li>・研究開発や技術試験事務の成果を国際標準化することの意義・必要性は高い。</li> <li>・装置の低価格化が必須であるため、量産化を可能とさせる国際標準化の効果は大きい。</li> </ul>	4.4
屋内環境における電波雑音特性等の国際標準化のための国際機関等との連絡調整事務	H25～H27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電波雑音調査と標準化を連携することは好ましい。</li> <li>・この分野の国際標準化にむけて日本からの測定データを発表していくことは必要である。</li> <li>・必要性、妥当性は認められる。</li> </ul>	4.4